

平成 28 年度全国学力・学習状況調査—小学校の結果分析について—

＜○概ねできている点 ●課題のある点 ☆指導改善のポイント＞

国語科

【国語 A】

- 目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことについては、概ねできている。
- 漢字を正しく理解して読んだり書いたりする問題において、日常の使用頻度の高い漢字については、概ねできている。
- 毛筆において、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることについては、概ねできている。
- 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。
- ローマ字の読み書きに課題がある。
- ☆物語を読む際は、様々な描写から登場人物の行動や会話、情景等をもとに場面の展開に即して変化する心情を捉えることができるよう、根拠とした叙述が妥当かどうかをグループや学級全体で話し合いながら理解できるよう指導を工夫していく必要がある。またローマ字は、日常生活の中でも活用できるようにしていく。

【国語 B】

- 目的に応じて複数の本や文章などを選んだり、本や文章を比べて読んで効果的な読み方を工夫したりすることについては、概ねできている。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。
- グラフや表を基に、分かったことや自分の考えを書くことに課題がある。
- ☆インタビューをする際には、話し手の目的や意図が捉えられるよう、学習や学校生活でメモを活用する場を設定し、指導していく必要がある。また、説明文では、図やグラフなどの関係やその効果を捉えるための指導が大切である。

算数科

【算数 A】

- わり算における計算の確かめの方法について、概ね理解している。
- 繰り下がりのあるひき算の計算の仕方について、概ね理解している。
- 不等号の意味と使い方について、概ね理解している。
- 三角形の底辺と高さの関係について、概ね理解している。
- わり算の性質『除数が 1 より小さいとき、商は被除数より大きくなる』や『除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらない』についての理解に課題がある。
- 直方体における面と面の位置関係の理解に課題がある。
- ☆小数の割り算についての理解に課題があるので、計算の手順だけでなく、割り算の性質の理解の上に立って学習指導を工夫・改善していく必要がある。また、立体図形の学習では、具体物や模型などを活用し、観察や操作を通して理解できるよう、算数的活動を充実させていくことが大切である。

【算数 B】

- 正方形の一辺の長さを変えたときの面積の大きさについて、概ね理解している。
- 記述式の問題全般に課題がある。特に、示された説明や式の意味を解釈し、それについて理由を記述する問題の無解答率が高い。
- ☆日常生活の事象と式を関連付けながら式や数値の意味を説明したり、筋道を立てて考えたことを過不足なく説明したりする活動を設けたりするなどし、数学的な思考や表現力を高めていく学習指導の工夫、改善が必要である。